

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q27（気管内吸引、消毒、環境整備、マニュアル、医療器具滅菌）

1. 「医療機関における院内感染対策マニュアル作成のための手引き（案）（070828 ver.5.0）」（平成18年度厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）「薬剤耐性菌等に関する研究」（H18-新興-11）主任研究者：荒川宜親）の人工呼吸器肺炎関連の感染対策、吸引カテーテルの項目で

・吸引回路および吸引瓶は当該患者専用とする

とあります。これは人工呼吸器をつけている患者にのみ当てはまるものなののでしょうか。当院では人工呼吸器をつけている患者はおらず（気管切開の有無はありますが）、吸引瓶は気道からの吸痰を目的として使用しております。

この場合でも患者専用としますと、吸引瓶の数がとても多くなってしまいます。逆流の可能性は低いのではないかと思うのですが、悩んでおります。この点いかがでしょうか？

2. 保健所から、浴室の環境整備の点検表を貼り記載するよう言われましたがその際に「消毒は何を使っているかも記載するよう」と言われました。手引き（案）では中性洗剤で湯垢が付かないようにし、特定の病原体を保有する患者は最後、または専用の浴室を利用とあり、特に消毒剤の使用については書かれていません。ノロウイルスなどの腸炎の患者を入浴させていなければ、特に「消毒」は不要とし、疑わしい患者の場合は次亜塩素酸を使用、でも問題ないのでしょうか？

A27

1. 吸引カテーテルは滅菌したものを使用し、吸引毎に廃棄するシングルユースが理想的である。しかし、それができなくシングルユースでないのなら、吸引瓶は、1日1回、内容物を廃棄し、消毒し、よく洗浄し滅菌水ですすいでから乾燥させることである。

2. 一般に洗浄剤を用いて洗浄を十分に行えば、消毒は不要である。ただし、もし腸炎患者が入浴したときは、洗浄剤で洗浄後、次亜塩素酸ナトリウム（0.05-0.1%）で清拭する。さらに洗浄し乾燥させる。腸炎を起こす原因微生物には、細菌やウイルスなどがあるが、ウイルスにも有効な次亜塩素酸ナトリウムが選択され使用される。感染患者であるときは、浴槽に入るより、むしろシャワー浴がよい。